

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		令和 6 年度 ～ 令和 8 年度			
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容			
	6	・照明器具のLED化 ・小型貫流ボイラの更新 ・非生産活動時の空調設備省エネモード化 ・ボイラーのブロー熱の回収			
	7	・照明器具のLED化 ・小型貫流ボイラの更新 ・非生産活動時の空調設備省エネモード化 ・高効率ターボ冷凍機への更新			
	8	・照明器具のLED化 ・高効率ターボ冷凍機への更新			
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	温室効果ガスの吸収等	区 分			目標年度（令和 8 年度）
					二酸化炭素換算(t)
		☐ 森林の整備等			t-CO ₂
		☐ 経済的手法の活用			t-CO ₂
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂
		国内クレジットの購入			t-CO ₂
		J-クレジットの購入			t-CO ₂
		非化石証書の購入			t-CO ₂
		合 計			① t-CO ₂
	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (令和 5 年度)	目標年度 (令和 8 年度)	対基準年度比 (%)
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 37,604 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t))③ 36,475 t-CO ₂	97.0
		☐ 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 37,604 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t))③-① 36,475 t-CO ₂	97.0
		☒ 原単位排出量 A/B	0.131 t-CO ₂ /m ²	0.127 t-CO ₂ /m ²	96.9
		温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B	286529 m ² (補正延床面積)	286529 m ² (補正延床面積)	100.0
	目標設定に 関する説明	前提条件として電気事業者における排出係数の変化は計画効果に見込まない。温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項欄に記載の項目をはじめ、各種合理化案件の推進により、基準年度に対して3%以上、原単位排出量の低減を行う。			
特記事項					

(注)

- 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する口にレ印を記入し、「取組量等」欄及び「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。
- 「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄のいずれか選択し、該当する口にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量A/B」を選択した場合においても「差引排出量 A」の値は記入すること。
- 「目標設定に関する説明」欄には、目標年度における温室効果ガス排出量（原単位排出量）を設定するにあたっての前提条件や、想定した削減策等、どのような考えに基づき温室効果ガスの排出量の抑制等に関する削減目標を設定したのかを記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。